

# 地域おこしって何だろう？

## 琴湖のほとりから



(写真) 撮影平井、以後クレジットなしは同じく

長崎市地域おこし協力隊  
琴海地区担当 平井杏奈

# 目次

1.自己紹介

2.琴海って？

3.活動報告

4.今後の活動予定

5.改めて地域おこしって何だろう？

# 1.自己紹介

平井杏奈 hirai anna

神奈川県川崎市育ち  
前職；持続可能な農業や地域づくりの出版社

【協力隊になったきっかけ】

元々大学で環境社会学専攻  
⇒地域活性化活動オモシロイ  
⇒就職  
⇒みているうちに、あちこち動くのではなく、土地に根ざした地域づくりにかかわりたくなったため。



みなまた環境大学2009

## 2. 琴海って？





## 2. 琴海って？



(写真) 石橋忍



平成の大合併で平成18年に長崎市に編入。旧琴海町。

人口12,524人（H24）。農林漁業、石材、真珠養殖、牡蠣養殖、コンクリート、小売り、サービス業、長崎市や時津、長与、佐世保市へも。  
小学校4校、中学校1校、高校1校。

即座に限界集落になるほどの人口構成の地域ではない。  
自然条件など豊か、文化も残っている。  
元「福祉のまち」でコミュニティ機能も充実。

# 3.活動報告1

なにができるかな？  
ヒアリング⇒

- 地域の認知度の低さ  
(外部へのPR)
- 独自のホームページや情報発信の仕組みがない  
(活動は色々あるようすなのに、web上の情報が少ない)
- 「通り過ぎるまち」  
(佐世保⇔長崎)
- 観光協会がない・活動がそれぞれごと  
(内部の相互認識)

# 3.活動報告1

地域行事の参加や手伝い、取材を通して人を知る。  
素材を集めながらサイトづくり。





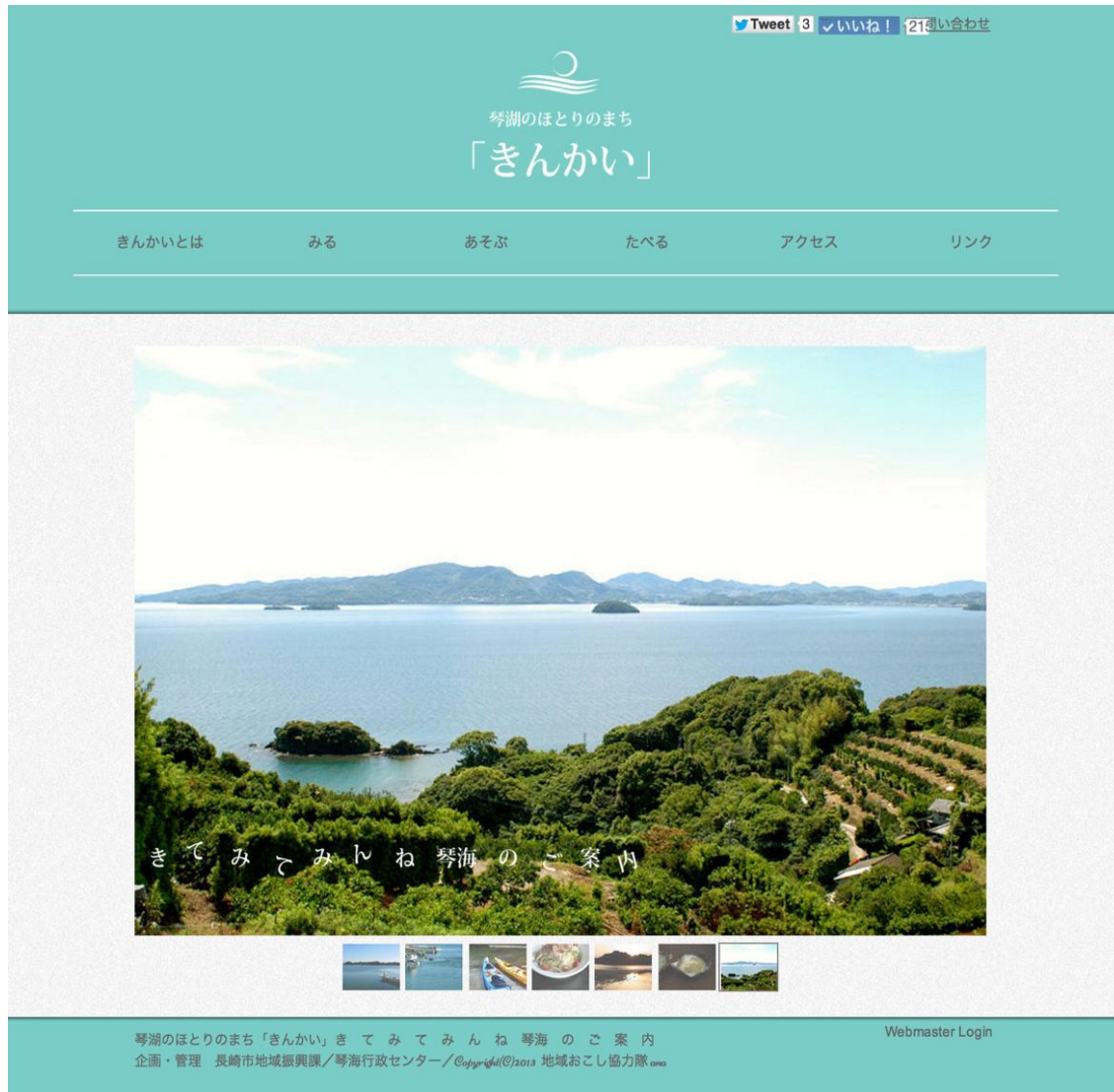
# 3.活動報告1

協力隊FBでの情報発信、琴海町史/琴海弁の勉強など。





# 3.活動報告1



- 郷土史から地域の紹介
- 行事暦の作成
- 地域に関する文書のアーカイブなど
- お店の紹介
- 体験の紹介
- アクセスの整理
- リンク集
- 「琴湖のほとりに暮らす人々」（インタビューシリーズno.1～4）

情報発信サイト「琴湖のほとりのまち「きんかい」」2013年6月21日open

# 3.活動報告1

## 【狙い】

琴海地区への興味喚起、地区の案内、情報アーカイブ

## 【効果】

開設～12月頭の6ヶ月弱で設置のFBボタンで215いいねをいただいています。協力隊FBと連動しながら見ていただいているようです。

ウェブやサイトやFBで紹介したお店に写真を見て新しく来店してくれたり（珈琲屋さん）購入してくださった人も（真珠屋さん）、との声をいただいております。記事からテレビ局の取材につながったこともありました（武内レイさん山野草の宿ー長崎ケーブルメディア）。

# 3.活動報告2

きんかい写真と手紙プロジェクト

とっておきの **琴海**  
おまそわげください

テーマ

琴湖のほとりの暮らし

(琴海にゆかりのあるものならなんでもO.K.)

募集期間

平成**25**年

処暑(8月23日)

～霜降(10月23日)



自分の写真でできた  
オリジナルポストカード  
5枚組をゲット!

「きんかい写真と  
手紙プロジェクト」

参考

【地元学】

「ないもの探しではなくあるもの探し」

狙い

- 市民協働の情報発信
- わがまちの価値の再発見

問い合わせ・応募先／琴海行政センター きんかい写真と手紙プロジェクト事務局  
fromkinkai@gmail.com 095-885-2111

## 3.活動報告2



- ①「琴湖のほとりの暮らし」をテーマに写真を公募
- ↓
- ②写真をもとにしたオリジナルポストカードの作成・送付  
(市民みずからによる情報発信のきっかけづくり)
- ↓
- ③琴海ふるさとまつりでの写真展 (価値の共有の場づくり)
- ↓
- ④ウェブサイトでの掲載 (外部発信の強化)
- ↓
- ⑤PRキャラバンとして長崎市内巡回展の実施 (現在巡回中)



## 3.活動報告2



応募106作品。  
ふるさとまつり展示場所来場者数約4000人。

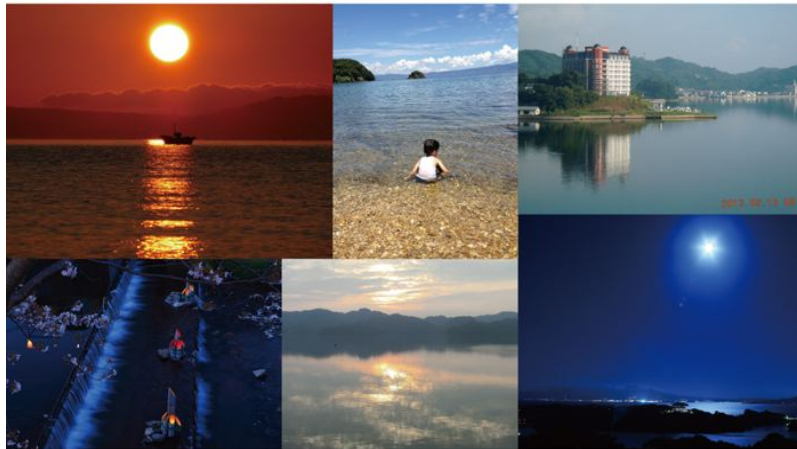
「写真を撮るために琴海を回って、琴海のよさを再発見しました」  
「改めて見ると琴海綺麗かねー」  
「こんなところもあったのね、いってみよう」  
「ここもきれいけどうちの地区はまたもっときれいなところあるよ」  
「来年はやらないの？」  
「あれからカメラを持って回るようになったとよ、こがん写真の撮れたよ」

など企画参加者や来場者の方々に好評をいただきました。

# 3.活動報告2

## 琴湖のほとりの 暮らし展

琴海からとっておきの瞬間をお届けします。入場無料、ぜひお寄りください。



### 巡回展日程

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 伊王島行政センター    | 2013年12月10日～16日 |
| 高島島内         | 2013年12月18日～25日 |
| 長崎市役所 1F ロビー | 2014年1月11日～16日  |
| 野母崎文化センター    | 2014年1月18日～23日  |
| 外海行政センター     | 2014年1月25日～30日  |





## 4.今後の活動予定



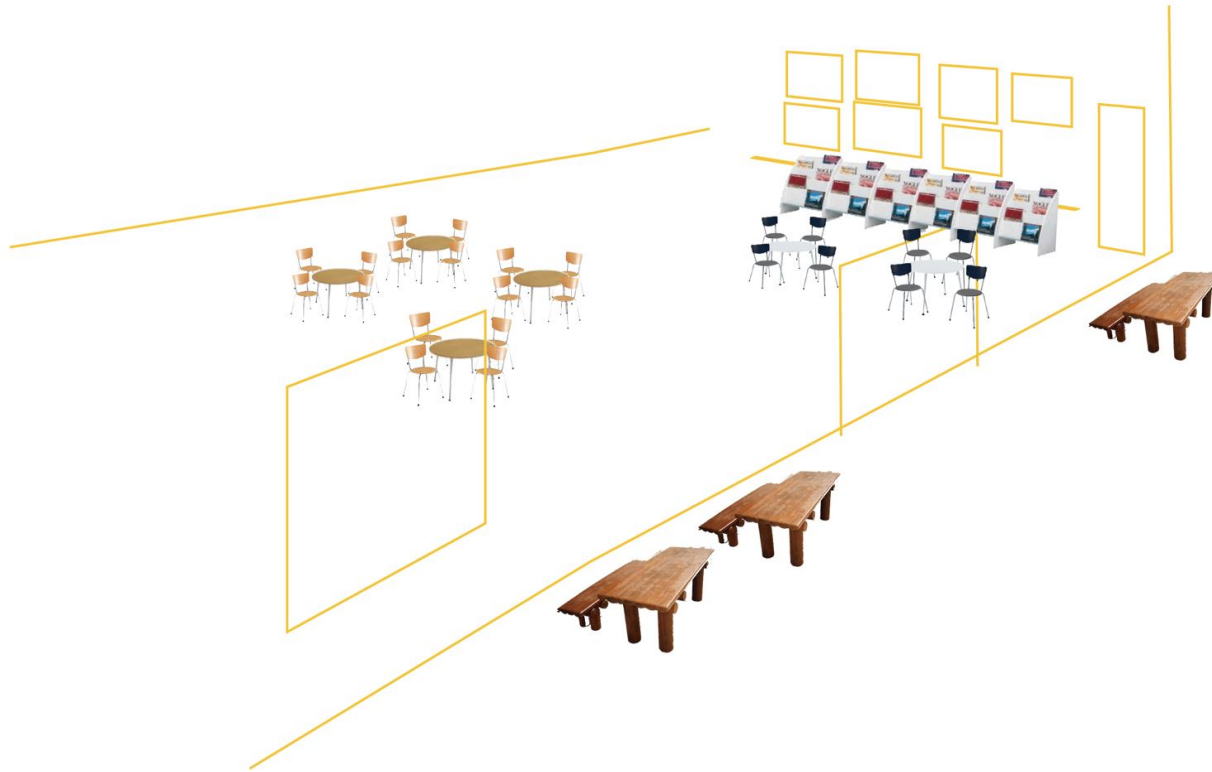
「通り過ぎるまち」⇒「ほっと一休みするまち」

佐世保⇔長崎 ちょうど真ん中、四季彩館

となりに直売所、むかいにパーキング

情報発信機能の付加/整備（場所としての具体化、みんな化）

## 4.今後の活動予定



cf.  
野母崎、池島  
長崎市電停  
福岡市、弘前市

### 【26年度予算案提出内容】

テーブル（休憩）、パンフレット（情報取得）、wifi（情報発信、おもてなし）

地域の中によそからの人でもふっと入れるスポットを

長崎市/西彼杵半島の情報発信スペース



## 4.今後の活動予定



### ●四季彩館まつり（田舎+cafe⇒いなかふえ）

四季彩館まつりは年2回。いなかふえは秋に第一回はじめて。好評のため冬にもういちどすることに。長崎市食の推進室、地元のお母ちゃんたち。

### ●KURUTONマーケット（KURUcafe × Amitonバリアフリーサクール）

月一フリーマーケット・ものづくり市。そろそろ2年目へ。四季彩館を盛りあげようと若手有志、ママたち。

## 4.今後の活動予定

他に…

ペーロン協会とのコラボ、ひきつづき取材/情報発信

空きや活用検討、ナリワイづくり

など 長崎と琴海のためになることなんらか

もうひとつ

社会実験の最中。

人口移動、新しい働き方や仕事を地域の中でつくれるか。

モデルケースをつくりたい。

協力隊制度も、長崎市の地域おこし、まちづくりも

あとの人が続きたくなるような着地にしたい…

# 5.改めて地域おこしって何だろう？

地域が「よい」状態であること

①代替わりがうまくいくこと  
(人口構成がいびつでない、生業がまわっていけること)

②よく生きてよく老いよく死ぬること  
(コミュニティが機能している、相互扶助機能が働いている)

③地域が楽しいこと  
(若者が出て行かない、出て行っても帰ってきたい場所であるか)

④次の世代へ続いていくこと  
(政治、環境、仕事、教育いろんなこと含めて持続可能性)



まちをどうしていきたいか、将来世代から選ばれる自治体になっていくための

## 未来へのデザイン！

*Thank you for listening !*

ありがとうございました！





自分の住んでいる  
地域、長崎市、九州、日本、地球、  
どのような未来を描きますか？

そうなるための行動を  
どのように毎日の仕事や暮らしに取りこんでいきますか？

あなたの「地域おこし」  
「まちづくり」  
の定義はなんですか？

最初のイメージは？なぜ興味を持ってくださったの？